

被疑者国選弁護人選任事務処理手順書

平成25年1月4日作成

平成26年8月26日改訂

平成28年11月1日改訂

平成29年3月31日改訂

平成30年6月1日改訂

令状及び被疑者国選事務等説明会配布資料

目 次

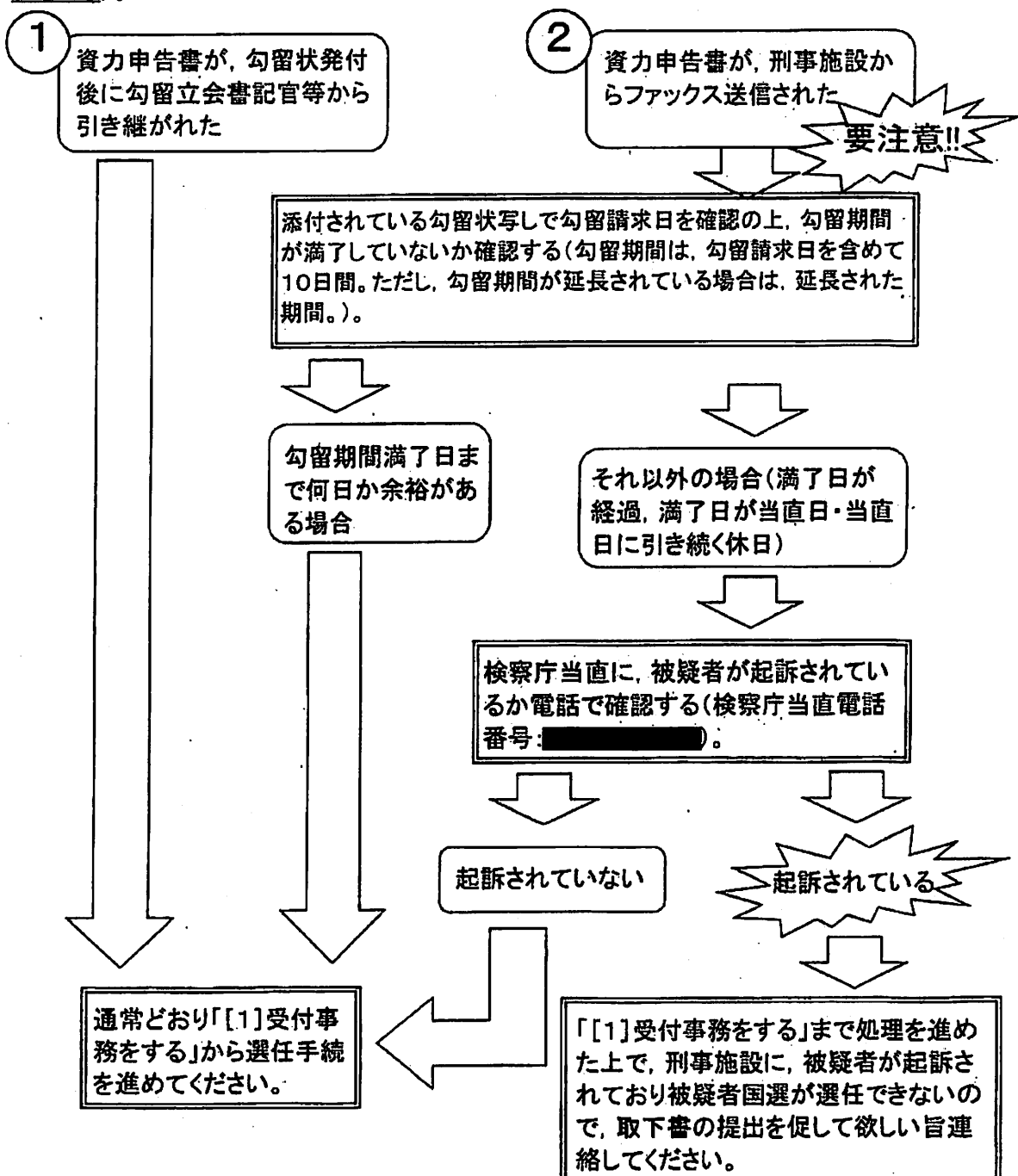
〔はじめに〕 資力申告書が提出された際の留意事項	2
〔1〕 受付事務をする	3
〔2〕 記録表紙等を作成する	4
〔3〕 依頼書をファックス送信する	8
〔4〕 指名通知書を受信する	9
〔5〕 選任書等を作成する	10
〔6〕 選任通知書を送信する	14
〔7〕 選任通知書の送信確認をする	15
〔8〕 終了	16

〔はじめに〕 資力申告書が提出された際の留意事項

国選弁護人選任請求書・資力申告書の提出については、主に次の2つの場合があります。

- ① 勾留請求時又は勾留質問時に被疑者が提出した国選弁護人選任請求書・資力申告書が、勾留状発付後に勾留立会書記官等から引き継がれる場合
- ② 既に勾留されている被疑者が提出した国選弁護人選任請求書・資力申告書が、留置施設からファックス送信される場合

②の場合、被疑者が起訴されていないことを確認する必要がありますので、次のフローチャートに沿って処理を進めてください(被疑者が起訴されている場合、被疑者国選弁護人は選任できません。)。



〔 1 〕 受付事務をする

1. 提出書類の確認

- ① 国選弁護人選任請求書・資力申告書
② 勾留状の写し(1枚目、2枚目、別紙)
③ 不在・不受任通知書(資力が50万円以上の場合は必ず必要)

2. 国選弁護士選任請求書・資力申告書の記載等の確認

國選弁護人選任請求書・資力申告書

[illegible]

- ① 事件名が勾留状の記載と一致しているか。
- ② 請求理由が(1)貧困の場合は資力が30万円未満であるか、(2)不在・不受任の場合は不在・不受任通知書があるか。
- ③ 資力の内訳にチェック漏れもしくは金額の記載漏れがないか。
- ④ 被疑者の署名・指印があるか(外国人の場合は指印はなくてもよい。)

3. 受付印の押捺, 採番

- ① 国選弁護人選任請求書・資力申告書に(記)受付印を押捺し、受付者の認印を押捺する。

※ 地裁・簡裁の区別に注意！
(勾留状を発付した庁の受付印)

※ 簡裁で受け付けるべき請求を当直裁判官が処理する場合、簡裁併任の裁判官が簡裁の裁判官として処理するようにしてください(令状日誌の中にある「裁判官の令状当直」で確認できます。)

- ② 上訴申立書等記録簿で採番する
(受付日と被疑者名を記入)。

※ 地裁・簡裁の区別に注意！
(帳簿が分かれています。地裁は1万台、簡裁は2万台の番号)

- ③ 記番号を受付印の記番号欄に記入する。

上訴申立書等記録簿

国鉄新車(44)		形式 23		年次 (記)		[大車] (記)		上制 中 立 寄 留 車		製造 年	
国鉄車	車次	車種	車名	製造年・月	製造所	製造人	セクター 車輪	車輪 直径	車輪 重量	車輪 重量	車輪 重量
10001	2-12	(10)	山田太郎	1950-10-10	山田太郎	山田太郎	1000	1000	1000	1000	1000
10002	-	(10)		1950-10-10	山田太郎	山田太郎	1000	1000	1000	1000	1000
10003	-	(10)		1950-10-10	山田太郎	山田太郎	1000	1000	1000	1000	1000
10004	-	(10)		1950-10-10	山田太郎	山田太郎	1000	1000	1000	1000	1000
10005	-	(10)		1950-10-10	山田太郎	山田太郎	1000	1000	1000	1000	1000
10006	-	(10)		1950-10-10	山田太郎	山田太郎	1000	1000	1000	1000	1000
10007	-	(10)		1950-10-10	山田太郎	山田太郎	1000	1000	1000	1000	1000
10008	-	(10)		1950-10-10	山田太郎	山田太郎	1000	1000	1000	1000	1000
10009	-	(10)		1950-10-10	山田太郎	山田太郎	1000	1000	1000	1000	1000
10010	-	(10)		1950-10-10	山田太郎	山田太郎	1000	1000	1000	1000	1000

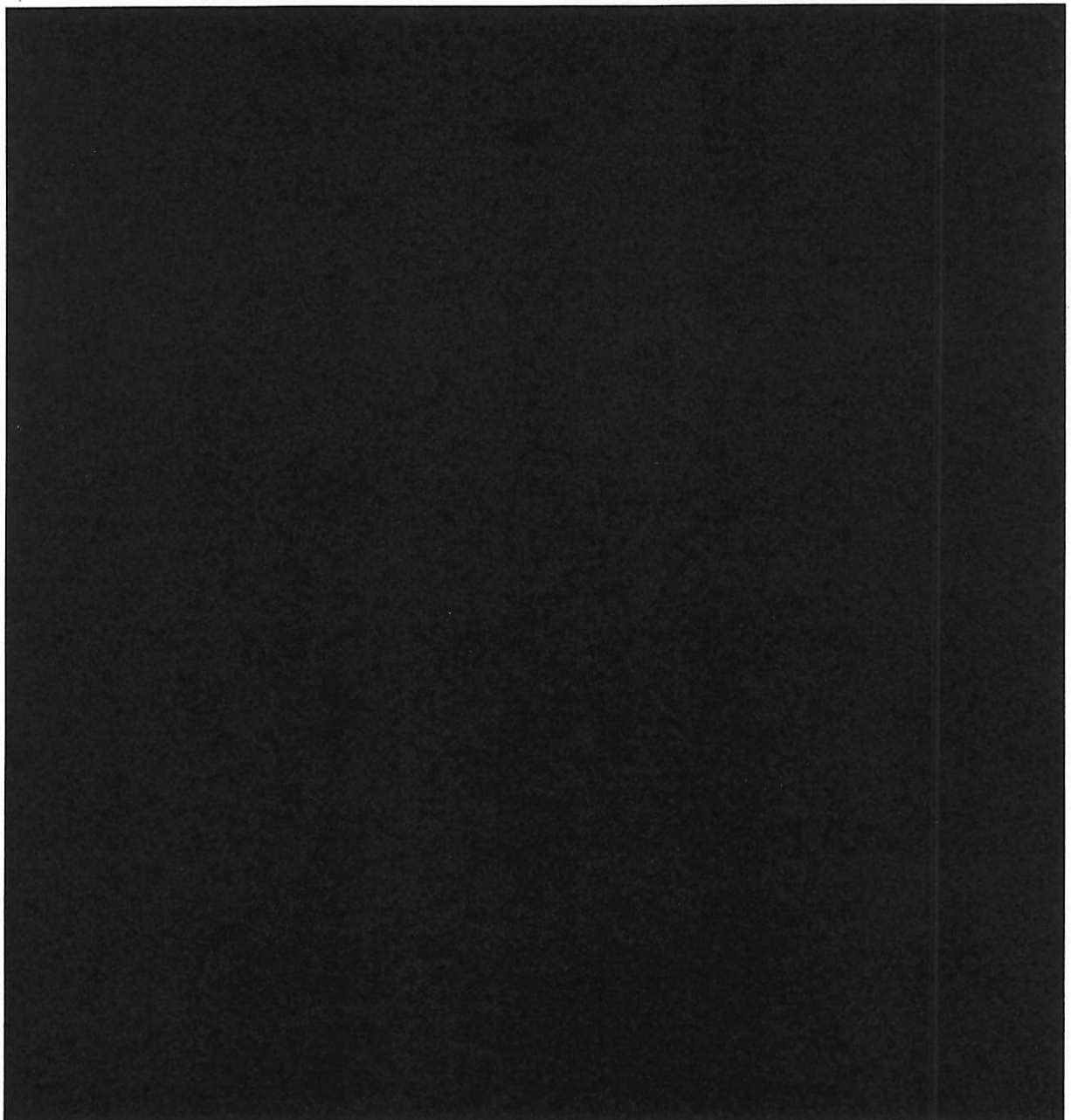
【注意】 勾留質問手続等で新たに提出された国選弁護人選任請求は、すべて当日中に受付事務を行ってください。

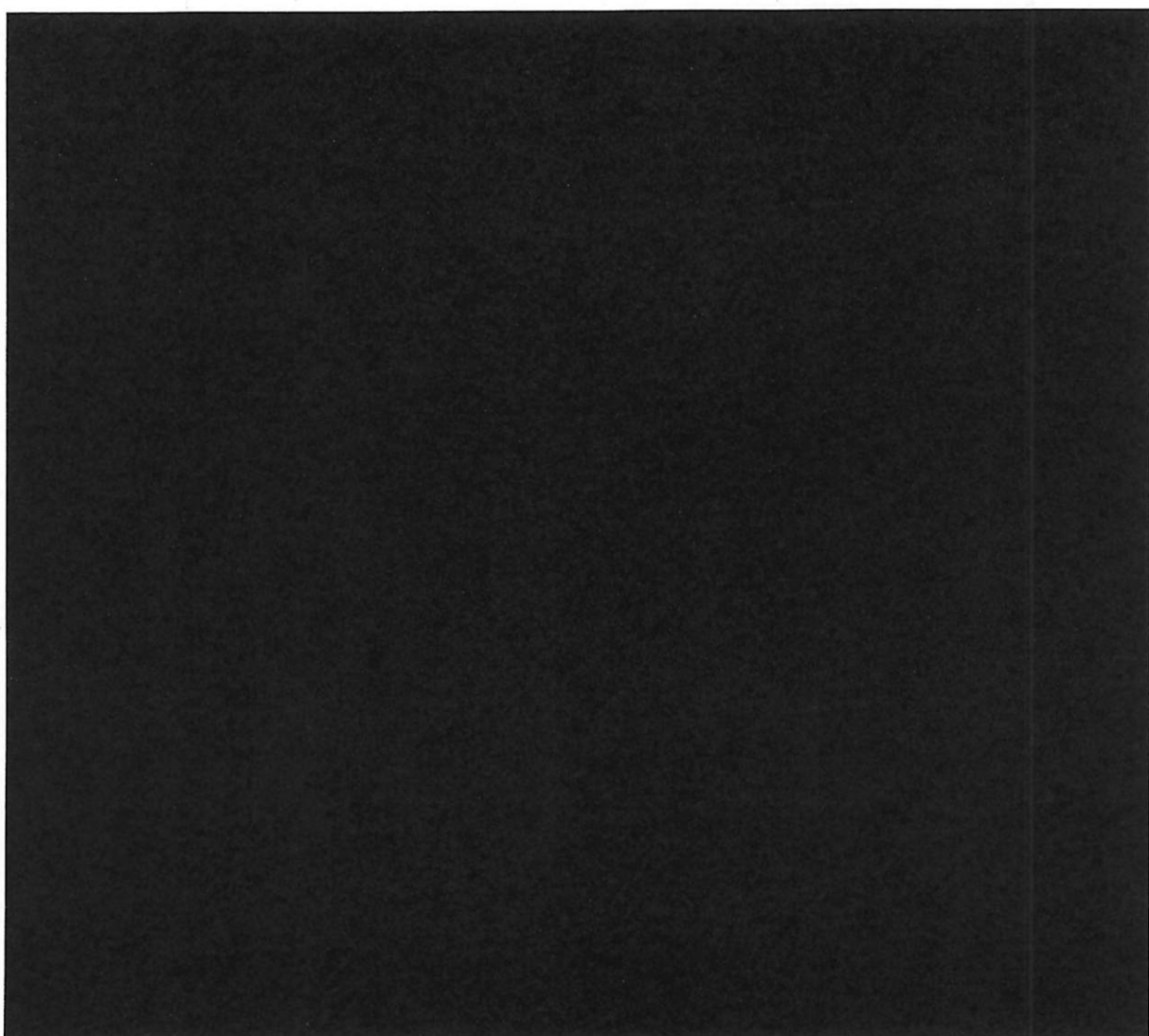
〔 2 〕 記録表紙等を作成する

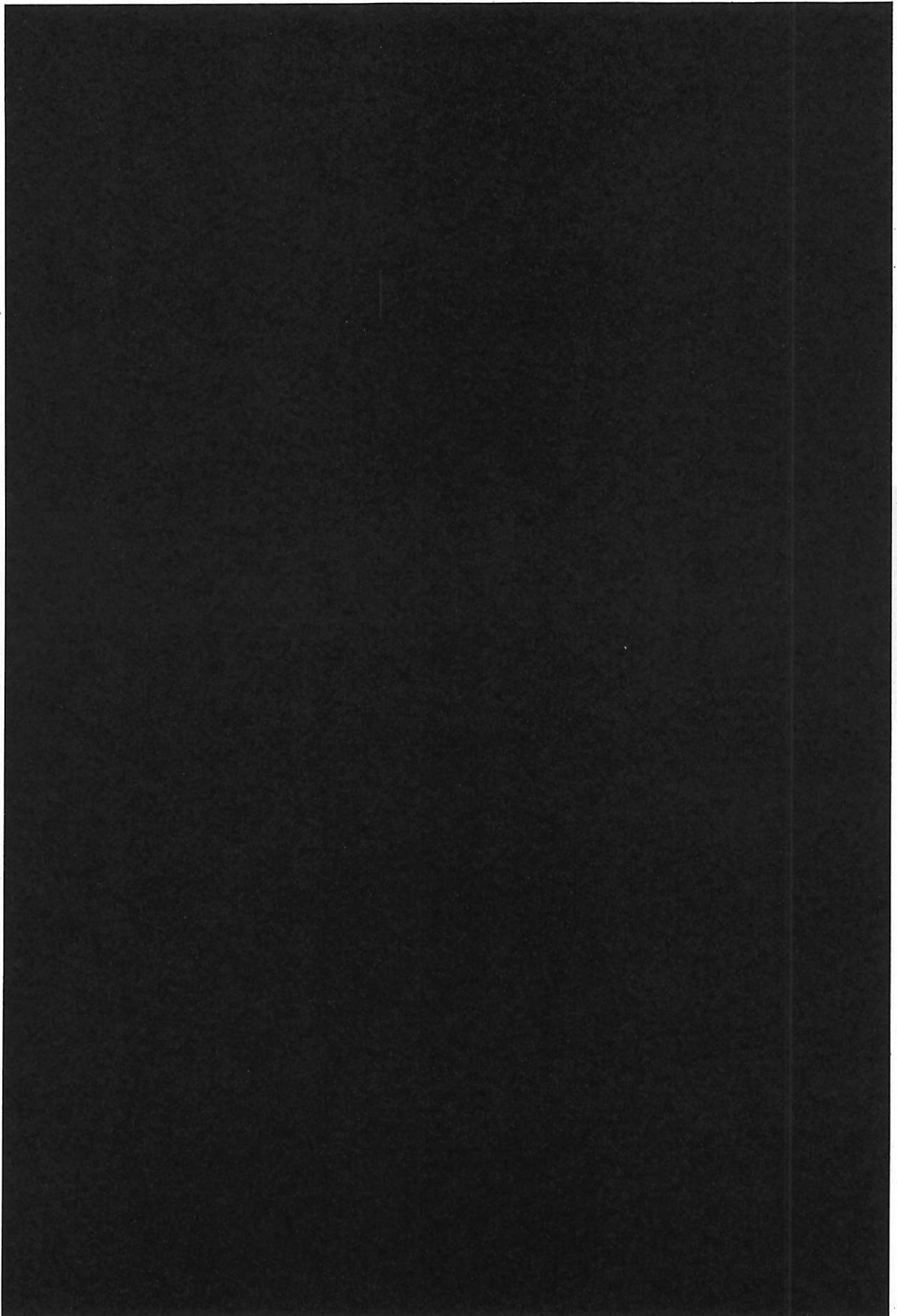
※ 記録表紙及び国選弁護人候補指名通知依頼書が既に作成されている場合は「2. 記録表紙への所要事項の記入」に進んでください。

作成されていない場合は「1. 記録表紙及び国選弁護人候補指名通知依頼書の作成」から処理を進めてください。

1. 記録表紙及び国選弁護人候補指名通知依頼書の作成







2. 記録表紙への所要事項の記入

平成26年(記)第10001号	
国選弁護士選任請求等事件記録	
大阪地方裁判所	
事件番号	平成26年(記)第10001号
被疑者及び被疑事件等	
被疑者 山田太郎	
被疑事件 傷害	
勾留日 平成26年5月22日	
勾留場所 [REDACTED]	
請求者等	弁護士
<input checked="" type="checkbox"/> 被疑者 <input type="checkbox"/> 犯罪被害者の代理人	
電話番号	電話番号
保存期間 平成 年 月 日	保存期間 平成 年 月 日

① 採番した(記)番号が印字されているか確認し、印字されていない場合は記入する(左上部にも記入してください)。

② 「請求者等」欄の「被疑者」にレ印を記入する。

[3] 依頼書をファックス送信する

1. 国選弁護士候補指名通知依頼書の確認

国選弁護士候補指名通知依頼書		裁判官印 (印)
日本司法支援センター大阪地方事務所 様中		大阪サテライト地方裁判所
送付番号	依頼日 平成26年5月23日	
ヤマダタロウ	生年月日	昭和45年6月19日生
山田太郎	住所	大阪府天満警察署留置施設
勾留日	平成26年5月22日	
事件	事件番号	平成26年(刑)第10001号
国選弁護士選任請求の別	国選弁護士選任請求の別	
<input type="checkbox"/> 国選弁護士あり <input type="checkbox"/> 国選弁護士に国選弁護士あり <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 国選弁護士に依るものがある又は国選弁護士に依るものがある <input type="checkbox"/> 国選弁護士に依るものがある <input type="checkbox"/> 国選弁護士に依るものがある <input type="checkbox"/> 国選弁護士に依るものがある	
国選弁護士候補指名通知書		
氏名	〒	
住所又は事務所	TEL FAX	
所属弁護士会名	弁護士会	
総合法律事務所 39条第2項第1号 17条国選弁護士 の別	<input type="checkbox"/> 総合法律事務所39条第2項第1号 <input type="checkbox"/> 総合法律事務所39条第2項第2号	

① 裁判官の印があるか。

② 「依頼日」が実際にファックスを送信する日付になっているか(印字されませんので記入してください。)

③ 要通訳事件である場合、通訳言語が表示されているか。

④ (記)番号が正しく記載されているか。

⑤ 「国選弁護士選任請求の別」が「刑事訴訟法37条の2」となっているか。

※ 勾留状の記載(被疑者名、フリガナ、生年月日、勾留場所、勾留日、事件名)を訂正している場合があるので、その他の事項についても勾留状と照合してください。

※ 依頼書の記載を訂正する場合は、書記官印(地裁・簡裁の区別に注意!)を用いてください。

2. 法テラスへのファックス送信

① ファックス送信する書類

- ・ 国選弁護士候補指名通知依頼書
- ・ 勾留状の写し(1枚目、2枚目、別紙)
- ・ 不在・不受任通知書(請求理由が不在・不受任でなくても、請求への添付や事前の提出があれば併せて送信してください。)

② ①の原稿を、送信面を上向きにセットして、法テラスのワンタッチキーをタップし、続いて送信キーを押すと、原稿読み込みを開始し、送信が開始される。

※ ファックスが出力した同報送信結果レポートを記録に編綴する必要があるので、送信は必ず1件ごとに行ってください。

※ 法テラスの依頼受付時間は午前9時から午後4時までです。当日最初の送信については、事前に電話連絡してください(法テラス国選弁護課電話番号: 〇〇〇〇)。なお午後4時以降、緊急で依頼する必要がある場合には、送信の可否を問い合わせてください。

③ ファックス送信後、しばらくすると同報送信結果レポートが出力されるので結果欄が「OK」となっていることを確認する。また、法テラスが受信通知として依頼書に受付印を押捺したものを送信するので、同報送信結果レポートと共に記録に編綴する。

[4] 指名通知書を受信する

ファクシミリ送信書・受領書

① 法テラスの指名事務が完了すると、国選弁護士候補指名通知書が、ファクシミリ送信書・受領書と共にファックス送信されてくる。

② 受領書の部分に受付印を押捺して、法テラスへファックス送信する。

※ 地裁・簡裁の区別に注意！

※ 送信は必ず1件ごとに行ってください。

国選弁護士候補指名通知書

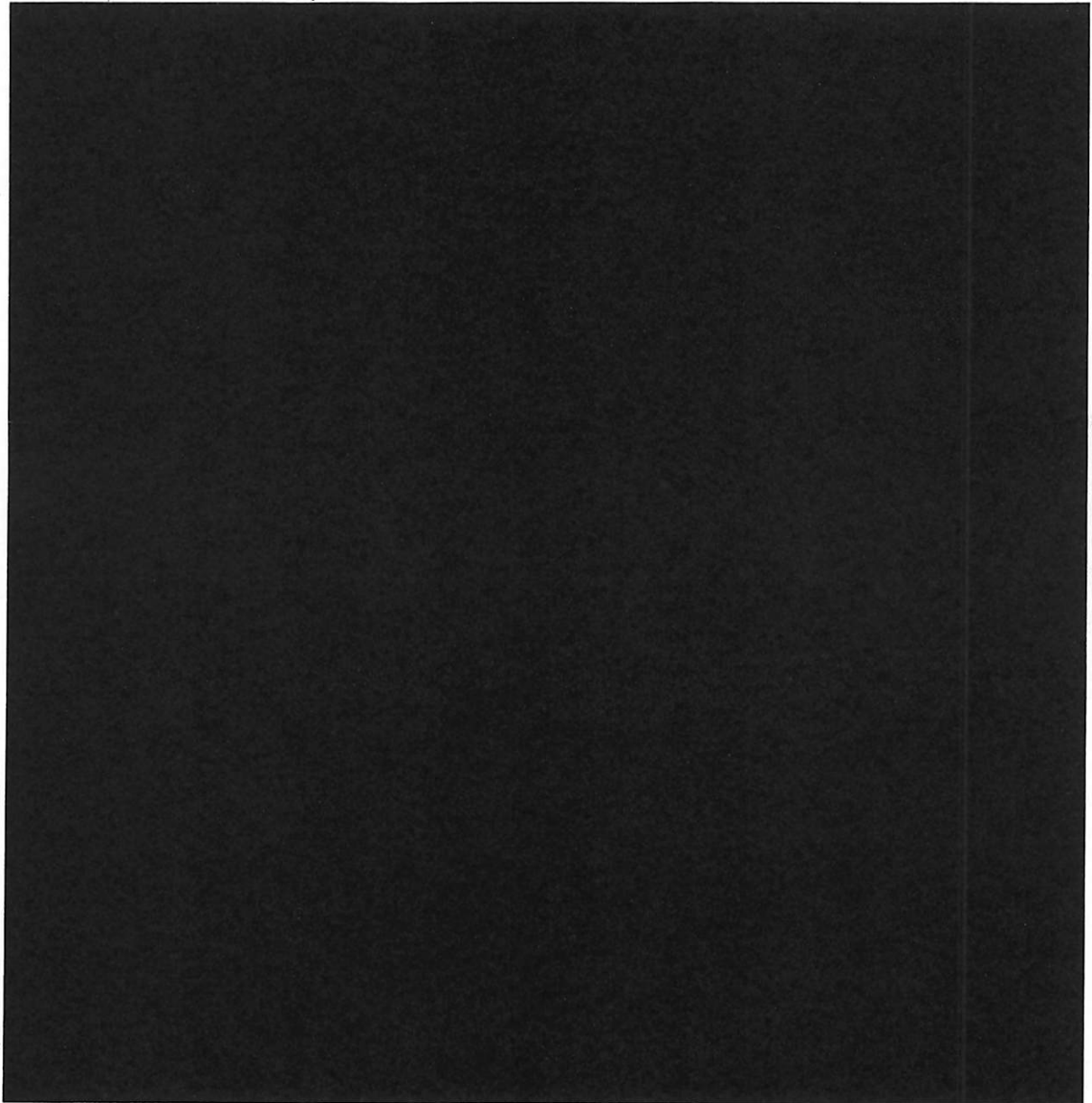
③ 弁護士の氏名、住所又は事務所の記載があるか確認する。

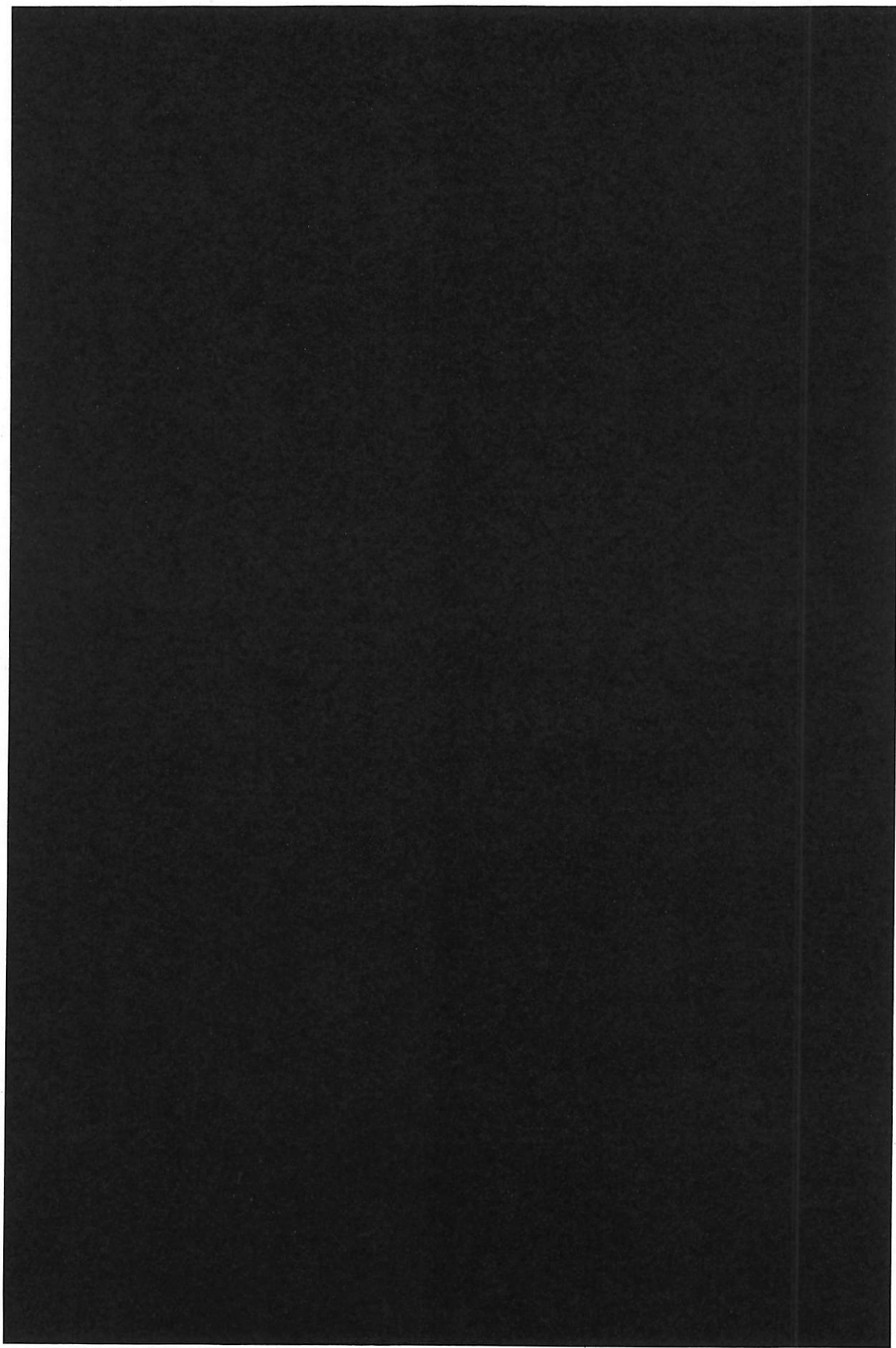
④ 所属弁護士会の記載及び総合法律支援法の選択(条文にチェック)があるか確認する。

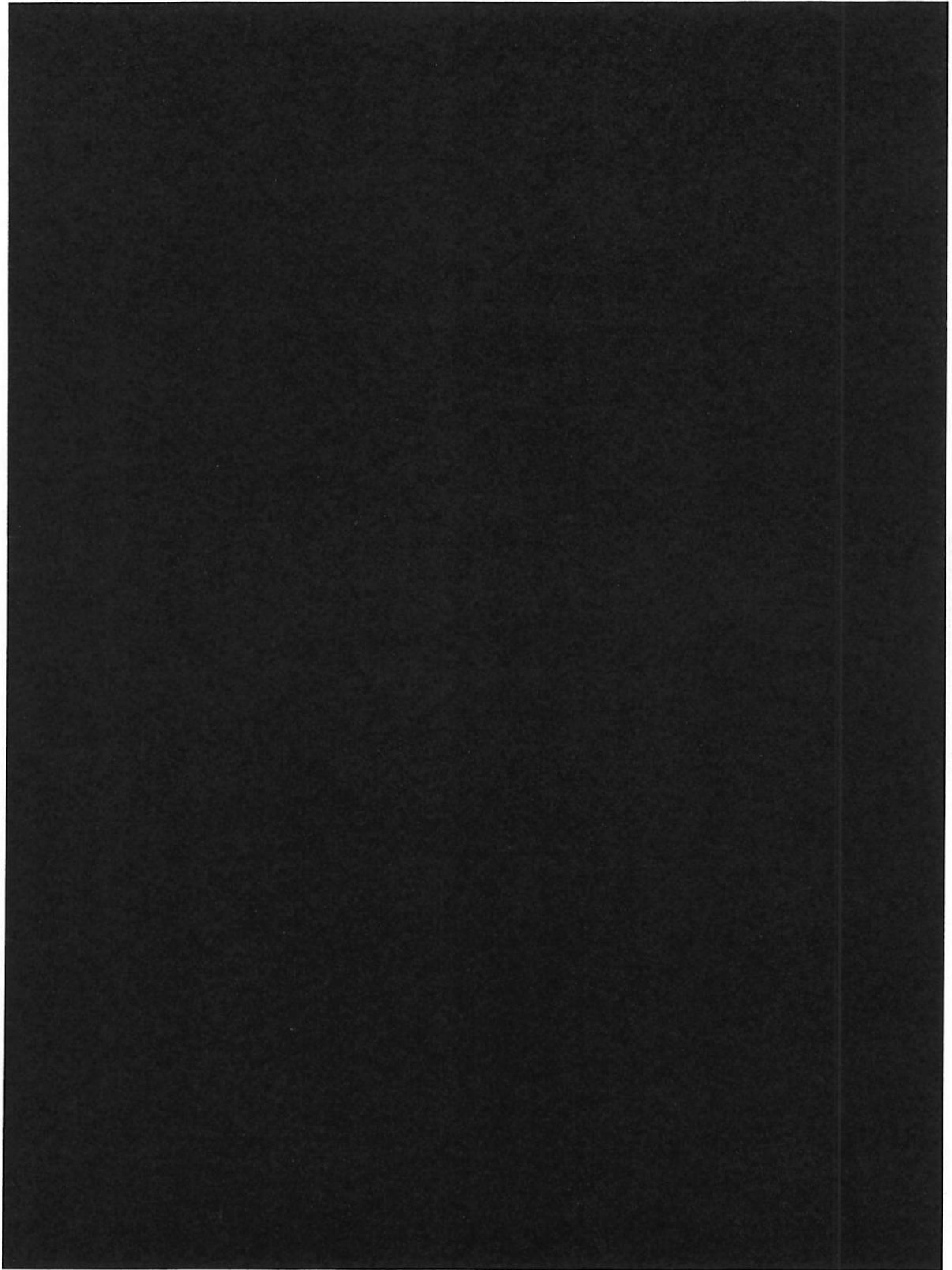
※ 記載等に不備があれば、法テラスに差替えとしての再送を依頼してください。

〔 5 〕 選任書等を作成する

1. 国選弁護士選任書及び選任通知書の作成







2. 記録の裁判官への提出及び結果等の記載

国選弁護人選任書

平成23年(記)第10001号

国選弁護人選任書

大阪弁護士会所属
弁護士 大阪 花子

上記の弁護士を依頼者山田太郎に対する国選弁護人として選任する。

平成23年2月12日

大阪地方裁判所

裁判官 山 田 郎

① 印刷した帳票の記載を確認の上、記録を整えて裁判官に提出する。

※ (記)番号の記載及び作成日付は入念に、そのほか、被疑者名、弁護人名、所属弁護士会、罪名についても確認しておいてください。

② 裁判官の決裁の後、印があることを確認する。

上訴申立等記録簿

記録簿番号	案件番号	被告人・被害者	弁護人の氏名	裁判官	上訴申立書等記録簿
10001	2-12	(○)	山田太郎		選任
10002		(○)			
10003		(○)			
10004		(○)			
10005		(○)			
10006		(○)			
10007		(○)			
10008		(○)			
10009		(○)			
10010		(○)			

③ 上訴申立書等記録簿の備考欄に、選任の日付と弁護人氏名を記入し、「選任」の文字を○で囲む。

記録表紙

☐ 大阪府警察本部 新北島別館留置施設
☐ 大阪拘置所
☐ 大阪少年鑑別所

請求者等	弁護人
<input checked="" type="checkbox"/> 被疑者 <input type="checkbox"/> 職務補助を求める中立人	大阪 花子
電話番号	電話番号
保存期間 平成 年 月 日	保存期間 平成 年 月 日

④ 記録表紙に弁護人氏名を記入する(電話番号は記入不要)。

[6] 選任通知書を送信する

1. 国選弁護人選任通知書の確認及び書記官印の押捺

国選弁護人選任通知書

① 作成日付が実際にファックスを送信する日付になっているか確認する。

※ 日付に齟齬があれば、正しい日付で作成し直すか、書記官印を用いて訂正してください。

② 書記官印を押捺する。

※ 地裁・簡裁の区別に注意！
(選任した庁の書記官印)

③ 勾留日及び勾留場所をペンで記載する。
(例: )

2. 通知先へのファックス送信

選任通知書を、被疑者の勾留場所、検察庁当直、法テラスの3箇所にファックス送信する。

※ 送信は、次の手順で3箇所同時に行う。

- ① 原稿を、送信面を上向きにセットする。
- ② 【ファックス/スキャン】をタップする。
- ③ 被疑者の勾留場所(勾留状等で確認してください。)のワンタッチキーをタップする(画面に勾留場所が正しく選択されていることを確認してください。)
- ④ 大阪地検 当直のワンタッチキーをタップする(必ず当直に送信してください。)
- ⑤ 法テラスのワンタッチキーをタップする。
- ⑥ スタートボタンを押すと、書類を読み込み、送信が開始される。

※ ファックスが出力した同報送信結果レポートを記録に編綴する必要があるので、送信は必ず1件ごとに行ってください。

※ 選任通知書のファックス送信は可能な限り選任した当日に行ってください。なお、法テラスについては、依頼書でなく通知書の送信であれば何時に送信しても差し支えありません。

同報送信結果レポート

[illegible]

※ 右の画面は、ファックス更新に伴い、出力されるレポートの書式が変更されることから、イメージとして作成したものであり、上半分と下半分の日付等の内容とは一致していない。

国選弁護人選任書(写し)

平成23年(記)第10001号

写

国選弁護士選任署

大坂弁護士会所属
弁護士 大原花子

上記の弁護士を候補者 山田太郎 に対する審査被検事件の国選弁護士人に選任する

平成23年2月12日
大阪地方裁判所

裁判官 堀 木 郎

即日検察官・被検者・司法支援センターに通知済み

※ ファックス送信した日が選任日と異なる場合は、「即日」とあるのを送信日に訂正してください(訂正印(通知した当直書記官の認印)を忘れないでください)。

訂正の例: (平成23年2月13日)
(期日)

[8] 終了

選任通知書の送信確認が済んだら、国選弁護士選任書原本以外の書類を記録編綴順序のとおり整理して、左端をクリップで留めて[]に入れる。選任書原本を選任書／解任書原本入れ(黄色のクリアファイル)に入れ、同じく[]に入れる。

☆ 記録編綴順序

- ・ 記録表紙
 - ・ 国選弁護士選任請求書・資力申告書
 - ・ 通知書(被疑者版)
 - ・ 私選弁護士選任申出書・通知書
 - ・ 国選弁護士候補指名通知依頼書
 - ・ 勾留状写し
 - ・ 同報送信結果レポート(国選弁護士候補指名通知依頼書送信分)
 - ・ 国選弁護士候補指名通知依頼書(法テラス受信確認分)
 - ・ ファクシミリ送信書・受領書
 - ・ 同報送信結果レポート(受領書送信分)
 - ・ 国選弁護士候補指名通知書
 - ・ 国選弁護士選任書写し
 - ・ 国選弁護士選任通知書
 - ・ 同報送信結果レポート(国選弁護士選任通知書送信分)
- } 不在・不受任通知書の一式です。
あれば綴ってください。

※ このほか、関連書類は適宜記録末尾に綴ってください。

☆ 退庁前チェックリスト

- ☐ 処理が終わった記録はすべて[]に入れた。
- ☐ 途中の記録をトレーに整理し、引継用ペーパーに件数を記載した。
- ☐ 新件の受付事務はすべて済ませた(勾留質問が残っている場合は、書記官に受付事務の手順を伝えた。)